

行動シート

行 動 主 体 名	上甗支所 地域振興課
課・室・施設長名	植村 昭二
組 織 の 使 命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支所行政の円滑な推進に努める。 ・ コミュニティ協議会の支援及び連絡調整に努める。 ・ 自主財源である市税等の確保，収納率の向上に努める。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁関係課との連絡・連携を図る。 ・ 地区コミュニティ協議会との連携を図りながら事業の推進や支援を積極的に行っていく。 ・ 滞納市税等の徴収を強力に推進し，市税等の賦課徴収の公平及び財源確保を図る。
事務改善に関する 行動計画	<p style="text-align: center;">課職員が自らの仕事の価値と意味を認識し，事務分掌にのっとり協力し合って仕事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課内ミーティングの励行 ・ 事務分掌の見直し
接遇改善に関する 行動計画	<p style="text-align: center;">市民等からの問い合わせや相談等に対しては，誠意ある対応や迅速な事務処理に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの励行 ・ 親切丁寧な電話対応の励行
経費節減に関する 行動計画	<p style="text-align: center;">効率的な事務処理により消耗品や光熱費等の経費節減に努める。</p> <p style="text-align: center;">コピー不要紙の裏面活用 電話通話時間の短縮 昼休み消灯，空調機器の適正な温度設定 定時退庁日の徹底</p>

行動シート

行動主体名	上甑支所 市民福祉課
課・室・施設長名	馬場 正弘
組織の使命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの向上 ・ 本庁及び各機関等との連携・進達事務 ・ 個人データの保護・管理の徹底 ・ 生保・身障・介護・高齢等福祉サービスの充実 ・ 各検診・機能回復訓練・栄養指導等，保健事業の推進
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務での，市民への対応等の向上を図る。 ・ 各給付事業等に係る進達事務の本庁及び各機関等との連携を図る。 ・ 戸籍・障害認定等個人データの保護・管理の徹底を図る。 ・ 福祉へ対する職員の認識向上を図る必要がある。 ・ 市民への事業実施の周知，病気の早期発見等，健康管理の周知徹底を図る。
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務が主である当課では，市民への接遇が大切であることから，行きやすく，解りやすくをモットーに，職員の資質向上を図る必要がある。 ・ 年金，介護保険，各福祉事務等，給付に関する業務が多彩であり，進達事務が重要で，市民への給付延滞が生じないように，関係書類の遅延防止に努める。 ・ 少子・高齢化に伴い，介護を含めての福祉サービス事業は，増加傾向にある。福祉の町づくりを目指し，近隣である里町と業務分担しながら，福祉サービスの遂行に努め，あらゆる福祉相談に対応しうる職員の資質向上を図る。 ・ 旧上甑村が実施していた各検診事業に，新年度から個人負担が生じるため，受診者の減少が懸念される。健康なまちづくりを目指すうえでも，多くの市民に検診の大切さを呼びかけ，検診事業の推進に努める。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務が主である本課にとっては，職員の対応一つで，市民から見た支所の資質の評価が変わる。職員の知識を高めることが自信につながり，市民が抱えている悩みや疑問，不平，不満等に対して十分な対応が可能となると考えられるため，課内において，定期的な事務分掌の見直し，事務の執行状況の確認，意見交換等を含めての研修会を実施するとともに，本庁及び各機関が実施する研修会等への積極的な参加を図っていく。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しく，早く，美しくを念頭に，事務処理の効率化を図りながら，事務に要する消耗品費，光熱費等の節減に努める。

行動シート

行動主体名	上甑支所 上甑診療所
課・室・施設長名	馬場 正弘
組織の使命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの向上。 ・ 他の医療機関等との連携 ・ 個人データの保護・管理の徹底。 ・ それぞれの業務の立場における任務，責任の徹底。 ・ 経営安定化の推進。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務職員の資質向上を図る。 ・ 専門医等との連携，急患搬送による迅速な対応，処置に努める。 ・ 患者の病名等に関するデータ管理の徹底を図る。 ・ それぞれの職務に対する認識の向上を図る。 ・ 経営者に置き換えた観点からの運営に努める。
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口の対応が，診療所の第一印象となり，接し方で患者の病を悪くしかねないため，連絡，相談しやすい職員づくりに努める必要がある。 ・ 離島にある当診療所では，患者搬送は欠かせない業務である。本土の専門医との連携は，重要なことで患者の生命に係わることで，更に専門医との連携を密にし，離島医療の充実を図る必要がある。 ・ 医者，看護師のそれぞれの専門職であることの認識を高めるとともに，診療業務の充実を図る必要がある。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの職務に対する知識を高めることが自信につながり，患者への対応も変わると思われる。患者とのトラブルを防ぐためにも，専門職であればあるほど研修の機会が必要と考えられることから，研修会等への積極的な参加を図る必要がある。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務に要する消耗品費，光熱費等の節減に努めるとともに，多額な経費を要する医薬品等の購入に対しての，方法の検討が必要である。 ・ 隣接の里地域と連携を密にし，薬品等の単価調整を図るとともに経費節減に努める。

行動シート

行動主体名	上甌支所 産業課
課・室・施設長名	北園 千勝
組織の使命	<p>上甌支所管内の農林水産業，商工業及び観光産業の振興を図り，もって地域活性化に資する。</p> <p>特に水産業の振興については，浜の賑わいの復活が地域の元気の源であり，新規事業である離島漁業再生交付金を有効活用しその方策を探る。</p>
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業については，農地の荒廃化が進み農家数は，激減し現在42戸にすぎず，ほとんどが自給的な農家であるが，販売農家である畜産業の支援及びパッションフルーツ等の園芸作物の生産奨励等生きがい農業の推進を図る必要がある。 ・ 水産業は，近年の漁獲量の減少や漁家の低迷などもあって厳しい現状であるが，地域の基幹産業として漁港施設の整備や漁場の造成，管理型漁業及び栽培漁業を推進する。 ・ 林業については，地域の68%が森林であり，その森林を管理するための林道開設の促進及び既設林道の維持管理に努める。 ・ 商工業については，地域における経済の健全な発展に資するため，引き続き商工団体を支援する必要がある。 ・ 観光については，夏季集中型から脱却できない状況にあるが，離島の特性を活かした体験型観光の推進や参加型イベントの開催などを引き続き展開し，交流人口の拡大を図る必要がある。
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存事務事業の価値と意味を再度吟味するとともに，地域の現状を十分に認識し，事務事業の見直しに努める。 ・ 毎週課内ミーティングを実施し，意志の疎通を図るとともに連帯感を強め事務事業の推進に当たる。 ・ 適切な文書管理を行い，身の回りを整然とし，明るい職場環境づくりに努める。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「われわれは，市民から預かった税金で仕事をさせてもらっている」ことを常に意識し，市民サービスにあっては，迅速で，丁寧に，わかりやすく対応するように努める。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管轄の公の施設の維持管理に係る費用について，施設ごとに見直しを行い経費節減に努める。

行動シート

行動主体名	上甑支所 建設水道課
課・室・施設長名	石原 成人
組織の使命	<p>建設水道課は6名の職員で上下水道・住宅・公園・港湾・海岸・市道の管理を管轄している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 上水道施設の安全点検・浄水場の機器の点検・水質検査・水道管の漏水の早期発見のための日常点検。 2 下水道施設(処理場)の安全点検・機器の点検・地域内のマンホールの点検・中継ポンプの安全確認と機器の点検。 3 住宅内の防犯灯の点検。 4 公園内の美化・設置トイレの清掃と衛生管理。 5 港湾・海岸の施設の点検・救命器具の点検・海岸線の不法投棄及び海岸線の清掃。 6 道路のカーブミラーの点検・路面の補修・道路の草刈を行い交通の安全の確保。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ol style="list-style-type: none"> 1 上水道については、水道水を地下水から取水していることから、渇水対策として、新たな水源の確保が必要である。 2 下水道については、下水道・合併浄化槽とも年々加入率が上がってきており、汚泥の搬送も量が多くなっていることから、経費節減のため島内での処理施設の建設が必要である。 3 住宅建設について、一般住宅の入居の変動は現況のままでよいと思われ、今後は高齢者対策として、高齢者住宅の建設が必要である。 4 公園について、市民及び観光客の憩いの場として、花の植栽をおこない環境の美化に努める。 5 台風対策として、塩害の被害が少しでもなくす為、防風ネット等の整備が必要である。 6 交通の安全対策として、道路現況の安全標識の設置が必要である。
事務改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 敏速な事務の決裁に務める。 2 報告・調査等の文書については、ゆとりを持った報告をする。 3 上水道の検針の違算がないよう努め、データ入力での再点検を行い、請求書の作成までの質の向上を図る。
接遇改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 上下水道について 漏水・下水管の故障による復旧は、市民への放送により水道水の断水・下水管の故障による復旧時間の呼びかけをおこない、市民への協力をお願いする。 2 住宅について 住人からのガス・電気・水道の故障等の問い合わせには、指定業者を紹介し、早急な復旧に努める。
経費節減に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 上下水道について 施設の日常点検をおこない、故障等が発生しないよう努める。 水質検査～各施設の点検～良質な水道水の供給 2 住宅・公園・港湾の各施設に設置している街路灯について、季節に合わせた点灯・消灯の自動制御板の点検に努める。 3 道路について 路面・法面の維持管理に努め、大きな災害が発生しないように努める。

行動シ - ト

行動主体名	上甌教育支所 教育課
課・室・施設長名	東 富可志
組織の使命	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育行政の充実振興に努める。 2 教育環境の整備充実に努める。 3 生涯学習社会の基盤づくりに努める。 4 社会教育の充実に努める。 5 芸術文化の振興に努める。 6 社会体育の振興に努める。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ol style="list-style-type: none"> 1 本庁教育委員会各部所との連絡連携を図る。 2 施設, 設備の補修整備を図る。 3 2 学校の校舎, 3 学校の屋内体育館の耐震診断必要 4 スク - ルバス運行形態の考慮 5 里教育支所, 上甌教育支所間の連携を図る。 6 生涯学習の推進。学習機会の拡充を図る。 7 里・上甌合同で行う事業の有用性や可能性を練りながら進めていく。(教育支所間連携) 8 社会教育諸条件の整備・充実, 家庭教育・成人教育の充実, 青少年教育の充実(地区コミとの連携) 9 芸術文化活動の充実と振興, 文化財保護条件の整備・充実, 文化財の保存活用 10 指導体制の充実, スポ - ツ活動の充実
事務改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場に即した教育予算の確保 2 事務分掌にのっとり職員一人ひとりが協力し合って仕事を行う。 3 団体事務局の移管(行政:教育課 団体)に伴う団体に対しての支援・助言指導 4 分掌事務進行の確認(更新)
待遇改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 問い合わせ等には,迅速かつ丁寧に接するよう心がける。“やさしくすれば,心はかよう”をモットーに接する。 2 明るくやさしい雰囲気のある職場づくり
経費節減に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 消耗品費等の経費節減に努める。 2 事務・雑務で使える資源再利用運動(用紙等) 3 なるべく料金の発生しない手段を選び行動する。 4 余計な部分を見極め必要な部分に充てる。

行動シート

行動主体名	上甌教育支所 学校教育課
課・室・施設長名	大久保 哲史
組織の使命	「あしたをひらく心豊かな人づくり」を基本目標として、生涯学習の観点に立ち、主体性・創造性・国際性等を備え、人間性豊かでたくましく生きる薩摩川内市民の育成を目指す。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<p>鹿児島県教育委員会及び薩摩川内市教育委員会:本庁等と連携を図りながら、「上甌地区の教育的な伝統や風土を生かした全人教育(知・徳・体)の推進に努めていく必要がある。</p> <p>里地区と上甌地区の各学校・教育機関・地域等の連携を充分に図りながら、特色ある開かれた学校づくりを進めていく必要がある。</p>
事務改善に関する 行動計画	<p>新世紀カリキュラム答申の4つの柱を視点に</p> <p>【責任を果たす学校】・【郷土への理解を深め愛情を培う学校】 保護者・市民の学校教育への思いや期待に応え、個に応じたきめ細やかな指導をより一層充実させ、子どもたちに確かな学力と心豊かでたくましい体を培う学校づくりを進める。</p> <p>【個性の花咲く学校】・【開かれた学校】 薩摩川内市及び上甌ならではの豊かな自然環境や教育的な伝統・風土を生かした教育活動等を推進する。</p> <p>学校における自己点検や自己評価等を進め、その結果の公表に努めながら説明責任を積極的に果たしていく学校体制を確立する。</p>
接遇改善に関する 行動計画	<p>各学校や教育機関及び市民等からの問い合わせや相談等に対しては、誠意ある対応や迅速な事務処理に努める。</p> <p>常に先を見通した行動を心がけ、ゆとりを持った丁寧な職務遂行に努める。</p>
経費節減に関する 行動計画	「正・速・美」の事務処理や行動等に基づく消耗品等の経費節減に努める。

行動シート

行動主体名	自動車運送事業 上甌事業所
課・室・施設長名	北園 千勝
組織の使命	上甌島内唯一の公共交通機関であり，市民並びに観光客に交通の便宜を供与する。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の業務量は，営業キロ数 31 キロ，車両数 5 両（小型バス 4・中型バス 1），年間走行キロ約 167 千キロ，職員は 6 人で（運転手 5 人・事務職員 1 人）で運営している。 ・ 営業費用に対する営業収益の割合は，30 パーセントと極めて低く厳しい状況であるが，高齢者等の移動手段として，維持する必要がある。
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行体制について，再度の見直しを実施し，より一層の経営努力と収益確保並びに安全運行に努める。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗客層は，高齢者及び小中学生が主体である。やさしさを基本に利用客のサービスに徹する。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両修繕費について，小修繕で済むように点検整備を徹底する。 ・ 退職者があった場合，その補充について嘱託員で対処できないか検討する。